

私も参加しました!



**楽園のように美しい島で
癒やされながら働いています**
赤松奈保子さん
期間:12カ月

昔から海外で働くのが夢でしたが、英語に自信がなかったため、働きながら英語力が身に付くホテルインターンシップに応募したんです。勤務先はモルディブ共和国のリゾートホテル「メドゥフシ・アイランド・リゾート」。初めの3、4カ月は言葉で非常に苦労しました。孤独を感じることも多かったのですが、周りのスタッフが本当に親切で、いつも私が理解できるまで丁寧に対応してくれたんです。それから徐々に英語が上達していくのを感じました。

ホテルインターンの最大の魅力は、世界中の方々と知り合えるチャンスにあふれていることです。またリゾート地なので、真っ青な海や満天の星空が日々のストレスをぬぐい去り、癒やしてくれます。休日を利用してダイビングのライセンスも取り、海の王様マantaにも遭遇できたのは感激でした!

現在は、さらなる語学力のアップを目指しながら、インターン終了後も継続して当ホテルで働くことを目標に、充実した毎日を過ごしています。

affordable study abroad program

ホテルインターンシップ

12カ月 650,000円

【プログラム費用に含まれるもの】

渡航中のケア、サポート、手続き代行費用、カウンセリング、英語能力のチェック、英文履歴書の添削、研修先の紹介及びマッチング作業、ホテル英語テキスト代、帰国後の観光産業への就職サポート

【プログラム費用に含まれないもの】

航空券、ビザ代、海外旅行傷害保険

費用が安いワケは?

ホテル側が宿泊場所や食事を提供してくれるため、物価の安い地域では生活費がほとんどかからない。さらに毎月2~5万円程度のおこづかいが支給されることも多く、初期費用をまかなえるほどの貯金ができてしまうのだ。

問い合わせ先

トラジャルインターンシップ

☎03-5386-3081 (東京)

☎011-207-2888 (札幌)

http://www.trajal-internship.jp

プログラム一括資料NO.TRJ2000-39A

を相手に最高のサービスを学べる。将来ホテルやエアラインなどのサービス業に就くことを考えている学生はもちろん、さらなるキャリアアップに向けて人との交流を深めたいという人には必ずためになるプログラムだ。

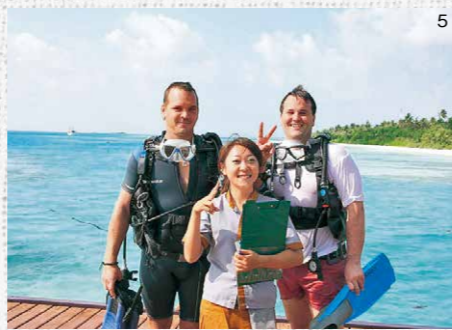
インターンシップ制度は、もともとアメリカで学生向けに始まったもの。それが観光業の発展により、アジア諸国一流ホテルでも海外の研修生を受け入れるようになった。日本人研修生の募集も定期的に行われ、人気を高めている。

業務は主に日本人宿泊客への対応だが、スタッフや日本人以外の宿泊客との会話はすべて英語で行われるため、生きたビジネス英語を使うことは必須。必要に迫られて努力するうちに、会話は確実にアップする。ただし、ホテルはあくまで仕事の場。学校ではないので1から10まで誰かが丁寧に教えてくれるわけではない。甘えは捨てて、積極的に周囲の人たちと接することが語学力、経験値アップの何よりの秘訣になるはずだ。



**ビジネス英語が
実践の中で身に付く**

派遣先のほとんどが世界的に有名な一流ホテルだ。欧米からの客も多く、スタッフとのミーティングはすべて英語。初めは慣れなくても積極的に話していくことで、学校では学べないビジネス英語が身に付くはず。覚えた単語や言い回しをメモするのも大事な勉強だ。



3.現地スタッフとももちろん英語で打ち合わせ 4.キッチンで働くスタッフと。モルディブはピリ辛料理が美味! 5.海のきれいなモルディブではダイビングが人気。お客様と一緒に

**星降る島のリゾートが
自分の居場所に**

ホテルインターンシップでは滞在先や食事が用意されている。寮に滞在することもあれば、モルディブのように他に宿泊施設のない島リゾートなら、客室のひとつが割り当てられることも。素敵なベッドで眠れば仕事のストレスも吹き飛びそう。



6.モルディブ・ミーム環礁にある「メドゥフシ・アイランド・リゾート」 7.ホテルから提供された部屋は、素敵なコテージ風の客室



1.モルディブの「メドゥフシ・アイランド・リゾート」で働く赤松奈保子さん。オプションツアーの予約やお客様からの要望を電話で受け付ける 2.モルディブは島のリゾート。水上飛行機でやって来るお客様をお出迎え

**世界中からのお客様を
高級ホテルでお出迎え**

ホテルインターンシップの主な仕事は日本人担当のゲストリレーションとしてレセプションの対応をすること。もちろん慣れてくれば欧米を中心とした外国人客にも対応する。未経験でも誠意を持って接客することでホテル業の魅力に気付いていくだろう。

Study abroad cheaply

英語力と経験は必要?

事前のカウンセリングと、ホテルとの電話による英語インタビューで、応募時の英語力は確認します。ただこれは、現地で簡単なコミュニケーションが取れるかどうかを計るためのもの。一部のホテルを除いては、渡航前に高い英語力や経験を求められることはありません。TOEICでは500点前後の応募者が多く、中にはTOEIC350点で応募し、持ち前の積極性で乗り切った人もいれば、「ハロー!」しか言えなくても天性の明るさで面接に合格し、充実したインターンシップを経験した人もいました。基本的な接客ができれば、あとはむしろ明るさや前向きな人間性こそ強く求められるのです。

滞在国内やホテルは選べるの?

希望はうかがいますが、最終的には応募と募集のタイミングが合うかどうか。ですから滞在希望地にこだわっていない方のほうが、早く渡航が決定する場合があります。また、ホテルインターンシップの受け入れ先は、圧倒的にアジア諸国

貯金ができるって本当?

アジア諸国のホテルでは月々2~5万円程度のおこづかいが支給されます。食費や滞在費はホテルが負担してくれるうえ、物価が安いので、ほぼ全額を貯金に回す人もいます。ただし、あくまでお金目的ではなく、経験を積むための参加であることは忘れずにください。

労働時間は? 休日はあるの?

基本的には週6日勤務で、1日平均6~8時間労働のシフト制です。もちろん、ハイシーズンで忙しくなったり、勤務時間直後に日本人団体客が来たりの場合には、残業を求められることもあるでしょう。そのあたりは臨機応変に対応してください。休み時間は必ず要求するのではなく、あくまでホテルスタッフの一員として働いているのだという自覚を持つことが大切です。

滞在国内中、旅行に行ける?

ホテルによって条件は異なりますが、約半年間の連続勤務の後に10日後の有給がもらえます。こうした休暇を利用して近隣の旅行することはできます。インターンシップ終了後の帰国前に、ゆっくりと近隣諸国や滞在国内を旅行するという人も多いようです。

英語力ほどの程度アップする?

日常の業務はほぼ英語で行われるため、会話は間違いなく伸びます。渡航前と帰国後ではTOEICの点数が200点程度上がるのが標準的。ただ、机の上で文法を学ぶわけではないので、会話やコミュニケーション能力が上がると考えてください。日本人ビジネスマンと接する機会も多い。中には正しい日本語力が身に付いたという人も、これもキャリアアップにつながる大切な要素ですね。

カウンセラーに聞いた!
気になるギモン
Q&A

